



沖縄の技術シーズを活かした地域産業活性化

アグリ技術シーズセミナーは、農林水産・食品分野で、新たな産学官連携を推進するため、最新の研究情報の発信を行うセミナーです。

今回は「沖縄の技術シーズを活かした地域産業活性化」をテーマとして、沖縄県の産学官の研究機関から、最新の技術シーズ、産学官連携事例を御紹介します。

なお、セミナー当日は、特別講演において、新品種を活用した6次産業化による地域振興と成功要因について御紹介し、セミナー終了後には、講師やコーディネーターとの個別相談会を開催します。

参加費は無料です。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時： 平成25年12月11日（水）13:30～17:30

会場： 沖縄県立博物館 講座室（沖縄県那覇市おもろまち3丁目1番1号）

参加費： 無料（個別相談会も無料）

※配布資料の準備の都合上、参加希望の方は12月6日（金）までに事務局までお申し込み下さい。
なお、会場に余裕がある場合に限り、当日連絡なしでのご入場も可能です。

主催： （公社）農林水産・食品産業技術振興協会、農林水産省

共催： 沖縄農業研究会

プログラム

【挨拶】 （公社）農林水産・食品産業技術振興協会 13:30～13:35

【特別講演】

「新品種を活用した6次産業化による地域振興と成功要因」 13:35～14:15

後藤 一寿 氏（（独）農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター
作物開発・利用研究領域 主任研究員）

【シーズ紹介】

1) **「黒糖開発研究の新展開 -黒糖コーティング、GABA黒糖、黒糖試作装置の開発-」** 14:15～14:40

広瀬 直人 氏（沖縄県農業研究センター 農業システム開発班 首席主任研究員）

2) **「瞬間的高圧処理による農作物の利用拡大」** 14:40～15:05

嶽本あゆみ 氏（沖縄工業高等専門学校 生物資源工学科 助教）

3) **「沖縄産農産物の物理的処理による機能性強化」** 15:15～15:40

弘中 和憲 氏（琉球大学 農学部 教授）

4) **「沖縄産発酵食品、植物繊維そして植物工場野菜がつくる健康生活」** 15:40～16:05

稲福 直 氏（（株）沖縄ウコン堂 取締役 商品開発部 部長）

【事例紹介】

**「沖縄における産学官連携による事業化と地域活性化：亜熱帯特有アグリ資源の
様々な活用方法」** 16:05～16:45

近藤 義和 氏（琉球大学 産学官連携推進機構 教授）

※特別講演、シーズ紹介、事例紹介の概要は裏面をご覧ください。

【農林水産省の競争的研究資金に関する情報提供】 16:45～16:55

（公社）農林水産・食品産業技術振興協会

【個別相談会】 16:55～17:30

共同研究形成等に向けた連携相談、技術相談に講師やコーディネーターが対応致します。

（セミナーにおいて紹介する技術シーズに関するご相談以外にも、農林水産・食品分野の研究に関する
ご相談全般に対応致します）

【特別講演の概要】

「新品種を活用した6次産業化による地域振興と成功要因」

後藤 一寿 氏 ((独)農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター)

(講演内容)

6次産業化の基本的な考え方は、農業生産者が加工事業・販売事業等を取り込みながら、高い付加価値を獲得していくことである。この6次産業化を進める上で、新品種や新技術などのアグリイノベーションを活用し大きな市場を創る動きが活発になっている。そこで、本講演では黒大豆新品種「クロダマル」や紫サツマイモ「アヤマラサキ」などを活用した6次産業化・農商工連携による地域振興事例を紹介し、成功要因を紹介すると共に、沖縄県で展開していく上での考え方をわかりやすく紹介する。

【シーズ紹介の概要】

①「黒糖開発研究の新展開 - 黒糖コーティング、GABA黒糖、黒糖試作装置の開発 -」 広瀬 直人 氏 (沖縄県農業研究センター)

(発表内容)

黒糖製造の「冷却攪拌」時に加熱することでコーティングが可能である。乳酸発酵により300mg/100g以上のGABA含有黒糖が製造できる。再現性が高い黒糖試験製造装置を開発した。

(マッチングの方向性)

- ◆ 技術移転先を見つけたい

(マッチングを想定する対象)

- ◆ 製造業 (食品製造業)

②「瞬間的高圧処理による農作物の利用拡大」 嶽本あゆみ 氏 (沖縄工業高等専門学校)

(発表内容)

超音速で伝播する衝撃波による瞬間的高圧は、穀物の製粉、野菜・果実の軟化や機能性成分の高効率抽出等を非加熱で実現する。本シーズを前処理に利用することで、加工品の高品質化や従来廃棄部位の利用が期待できる。

(マッチングの方向性)

- ◆ 共同研究相手を見つけたい

(マッチングを想定する対象)

- ◆ 製造業 (食品製造業、食品加工業)
- ◆ 農林漁業関係者

③「沖縄産農産物の物理的処理による機能性強化」 弘中 和憲 氏 (琉球大学 農学部)

(発表内容)

本研究は農産物の機能性(ビタミンおよび抗酸化活性)を真空含浸または電気処理により、増加させようとするものである。機能性を簡易に増加させ、高付加価値化により、沖縄産農産物の海外輸出を図る重要な戦略となるものである。

(マッチングの方向性)

- ◆ 共同研究相手を見つけたい

(マッチングを想定する対象)

- ◆ 共同研究機関
- ◆ 製造業 (食品製造業等)
- ◆ 農林漁業関係者
- ◆ 商社

④「沖縄産発酵食品、食物繊維そして植物工場野菜がつくる健康生活」 稲福 直 氏 ((株)沖縄ウコン堂)

(発表内容)

沖縄県の基幹作物であるさとうきび(バガス)の有効利用を目指したシーズ活用事例を紹介する。

○醗酵バガス(科学技術振興機構:独創的シーズ展開委託開発)

○炭化処理バガス(沖縄TLO(沖縄県委託):ライフスタイルイノベーション推進事業)

(マッチングの方向性)

- ◆ シーズを製品化する相手を見つけたい

(マッチングを想定する対象)

- ◆ 製造業 (食品、雑貨)

【事例紹介の概要】

「沖縄における産学官連携による事業化と地域活性化: 亜熱帯特有アグリ資源の様々な活用方法」

近藤 義和 氏 (琉球大学 産学官連携推進機構)

(講演内容)

沖縄は日本で唯一亜熱帯に属しており、様々な特有生物資源を持つ。また、沖縄特有の食生活による健康長寿の実績もある。色々な観点から眺めれば現代及び今後のエコ社会の様々な要求に十分に答えるものがあり、それを活用した産業も十分に可能である。私は琉球大学に赴任して5年であるが、その間に地域資源を活かした研究開発・産業化などを産学官連携活動として進めてきた。本講演では、これまでの研究事例や他の先生方の事例を含めて紹介する。今後の県内資源の有効活用に向けた一つのヒントになれば幸いである。

◆ 地域産学連携支援委託事業とは？

農林水産省が、農林水産・食品分野において産学連携による研究活動を活性化するため実施している事業です。全国に農林水産・食品分野の高度な専門知識を有する「コーディネーター」を配置し、研究計画の作成等、様々な支援を行っています。事業の概要や相談窓口は、ホームページ「<http://agri-renkei.jp/>」をご覧ください。

【事務局】

(公社)農林水産・食品産業技術振興協会
イノベーション事業部 川畑・酒井・佐藤
〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル7階
TEL:03-3586-8644, FAX:03-3586-8277,
E-mail:renkei-seminar@jataff.jp

平成 25 年度地域産学連携支援委託事業 アグリ技術シーズセミナー in 沖縄 (12/11 開催)

沖縄の技術シーズを活かした地域産業活性化

会場「沖縄県立博物館」案内図



住 所：沖縄県那覇市おもろまち3丁目1番1号

TEL：098-941-8200

交 通：沖縄都市モノレールおもろまち駅 下車徒歩10分

平成 25 年度地域産学連携支援委託事業 アグリ技術シーズセミナー in 沖縄 (12/11 開催)

沖縄の技術シーズを活かした地域産業活性化

参加申込書

宛先：(公社) 農林水産・食品産業技術振興協会 イノベーション事業部

E-mail：renkei-seminar@jataff.jp 又は FAX：03-3586-8277

(E-mail の場合、必要事項をテキスト入力頂ければ結構です。)

氏 名： _____

勤務先： _____

部署・役職： _____

住 所：〒 _____

TEL： _____ FAX： _____

E-Mail： _____

個別相談会希望： _____ () (希望される方は○印をご記入下さい)

個別相談内容 (個別相談会へ参加を希望される方は簡潔かつできるだけ具体的にご記入下さい)：

※申込書の取り扱いには本セミナー実施に係る業務にのみ限定し、目的以外には使用致しません。